

## 9 出題の形式を様々に工夫しましょう

次に示すのは、平成 16 年度教育課程実施状況調査で通過率が低かった記述式の問題にみられた出題の形式です。このような形式は、教科書の「学習の手引き」や市販テストでは、あまりみられません。

### 出題の形式例

- \* 筆者の考えを表す言葉を使って、 字程度で書きなさい。
- \* まず筆者の考えをまとめて書き、次に自分の体験をもとにして意見を書きなさい。
- \* 文中の「            」と「            」の二語を使って、人物の様子を説明しなさい。
- \* 文末が ~ から になるように、理由を述べなさい。

調査結果によると、字数・使用語・文末などの指定が組み合わされて出題された場合は、通過率が低くなる傾向がみられました。また、「百字程度で書きなさい」などのように、字数の指定が 3 桁になると、無答率が大きく上がる傾向がみられました。

これらのことから、記述式の問題は、その多様な形式や条件に、「段階的に慣れさせる」ことが大切だと考えられます。したがって、日常の指導においても、ワークシートなどに、これらの形式や条件を意図的に取り入れるなどして、多様な方法や記述量などに、段階的に慣れさせていく工夫が望まれます。

### ワンステップアップ

- \* 字数指定などの条件設定にあたっては、教師自身が児童の立場になって、事前に書いてみるのが大切です。その字数で書けるかどうか、児童がつかずくとすればどこかなどを十分に吟味しておくことで、授業を円滑に進めることができます。
- \* 「この範囲で筆者が述べていることをまとめるとしたら、どの言葉(文)が重要だろうか。」などの問い方で、大切な言葉や文(キーワード、キーセンテンス)を児童に探させます。その際、必ず理由を述べさせます。
- \* 「このキーワードを使って、この範囲の文章の要旨をまとめるには、字数はどれくらい必要だろうか。」などの問い方で、「字数」の目安を児童に考えさせ、実際に記述させます。まずは自分で文章量や必要な言葉を推定してみることで、論理的に考える力が身に付くのです。
- \* 記述する前に、ペア学習などで話し合い、記述できそうな手応えを得させることが大切です。また、記述したものを板書させて比べたり、互いに読み合ったりすることを通して、論理的に説明する力を身に付けさせるようにします。

## 平成 18 年度 研究委員会（小学校・国語科）

総 括	栃木県総合教育センター		所 長	五味田謙一
研究委員長	同	研究調査部	部 長	江部 信夫
研究副委員長	同	研究調査部	部長補佐	杉田 知之
委 員	上都賀教育事務所		指導主事	近藤 秀人
同	芳賀教育事務所		指導主事	齋藤 正幸
同	那須教育事務所		指導主事	丑越 薫
同	学校教育課		副 主 幹	中島 聖巳
同	栃木県総合教育センター	研 修 部	指導主事	鹿嶋 実
同	同	研究調査部	部長補佐	杉田 知之
同	同	研究調査部	指導主事	吉澤 正光
事 務 局	栃木県総合教育センター	研究調査部	副 主 幹	矢口 真一
同	同	研究調査部	指導主事	小川 順子

平成 18 年度 栃木の子どもの学力向上を図る学習指導プラン

確かな学力を育むために

【小学校・国語科】

発 行 平成 19 年 1 月

栃木県総合教育センター 研究調査部

〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町 1070

TEL 028-665-7204 FAX 028-665-7303

URL <http://www.tochigi-c.ed.jp>

栃木の子どもの  
学力向上を図る  
学習指導プラン  
【小・国語科】



いきいき栃木っ子3あい運動  
- 学びあい 喜びあい はげましあおう -